

6つの“当たり前”を検証!

その受診、本当にダイジョウブ?

突然ですが、サガリです!

受診現場からお送りします。
本日レポートするのは、受診に訪れたこちらの6人!
どうやら、受診方法を見直せば
お得に節約できること、知らないようですね。
6人はいったいどうなってしまうのでしょうか?

病院でのコストダウンに詳しい医療費節約オタク
サガリ マスオ リポーター



case 1 はしご受診の落とし穴

信頼できるお医者さんに
出会うまで探し続けるよ

P.4

ハシゴワタルさん



case 2 夜間診療はだれのため?

忙しいから、便利な夜の
時間外診療を利用しよう

P.6

カッテキママさん

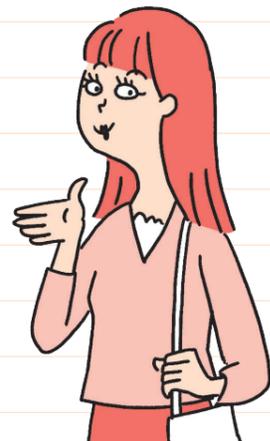


case 3 いきなり大病院のデメリット

大きな病院なら、いろんな
専門の先生がいて心強いわ

P.8

ダイビョウイン スキヨさん



case 4 かかりつけ薬局のススメ

薬って、やっぱり
あればあるだけ安心よね

P.10

クスリヤメグルさん



case 5 コスパで選ぶジェネリック医薬品

安い薬だとしても
効き目が劣る気がするのよ

P.12

ミエハルミさん



case 6 接骨院での健康保険の範囲

接骨院ではどんな施術でも
健康保険が使えるんじゃない?

P.14

カタコリイタムさん

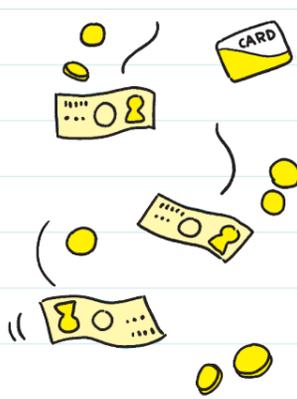


自己判断で病院を渡り歩く

はしご受診は デメリットだらけ

ハシゴ ワタル さん

納得できる診察を求めて、今日も新しい病院を探し続けるワタルさん。しかし、病院めぐりで体はぐったり、初診料がかさんでいることにも気がついていないみたい…。



受診現場
レポート

突然ですが、サガリです!

大切なのは医師とのコミュニケーションですよ!

あらら…体はフラフラ、医療費もかなり割高になっているようです。ワタルさんのように、診断結果に納得できず、自己判断で病院を転々とする「はしご受診」は、金銭面でも身体面でもデメリットが多いといわれています。診察内容に疑問や不安があるときは、その気持ちを正直に医師に伝えてみましょう。積極的にコミュニケーションをとることで、信頼関係が生まれ、納得できる治療につながりますよ。



お財布にも体にも 負担が大きいはしご受診

初めて診察を受けるときは「初診料」、同じ症状で継続して診察を受けるときは「再診料」または「外来診療料」がかかります。はしご受診をすると、病院を変えるたびに初診料や検査費用などがかかるので、医療費は割高になります。また、治療が長引き、検査や薬が重複して体に負担がかかるなど、身体的なリスクの原因にもなります。

■各病院の初診料と再診料

診療所 (20床未満)	病院 (200床未満)	大病院 (200床以上)
初診料 2,910円 [3,660円]		
再診料 750円 [1,130円]		外来診療料 760円 [1,140円]

※ [] 内は6歳未満の乳幼児の場合。
※ 地域包括診療加算等を届け出て、一定の条件を満たしている診療所や200床未満の病院の初診料には、機能強化加算800円が加算されます。
※ 医療従事者の賃上げに向けた評価料として、算定要件を満たす医療機関では初診料に60円～700円、再診料に20円～100円が加算されます。

■こんなに違う! 診察料

	1回目	2回目	合計
はしご受診の場合	初診料 2,910円 + 検査料	初診料 2,910円 + 検査料	5,820円 + 検査料 × 2
同じ病院の場合	初診料 2,910円 + 検査料	再診料 750円	3,660円 + 検査料

2回の診察で
2,160円
+ 検査料1回分の
差

※患者の負担は上記金額に自己負担割合(原則3割)を乗じた額になります。

セカンドオピニオンと はしご受診は似て非なるもの

「セカンドオピニオン」とは、主治医からの情報をもとに、別の病院の専門医などに意見を求めることです。患者や家族が納得し、適切な判断や治療を選択するための手助けとなります。

- step1 まずは主治医に相談を**
病院を探し、セカンドオピニオンを利用したい旨を医師に伝える。
- step2 必要書類を用意して病院を予約**
主治医に紹介状や検査結果などを準備してもらおう(保険適用)。
- step3 セカンドオピニオン外来を受診(全額自己負担)**
確認したいことを事前にまとめておくと診療がスムーズに。
- step4 再び主治医を受診する**
主治医に別の医師の意見を伝えて最適な治療を選択する。

